

# コンサートレポート

## 川口シニアアンサンブル

### 発足1周年記念コンサート

川口シニアアンサンブルの発足1周年記念コンサートは、2月25日、小雨が降る寒い日の夜17時半より、始まりました。なぜこんな遅い時間にスタートとなったのか、それは、私達が練習会場としている、川口リリアの改修工事が4月より約2年間行われる予定で、その前にコンサートを行うためには、この日、この時間しかなかったという状況がありました。昨年4月に発足した私達の活動の1年の総括コンサートは、丸々1年の期間を待たずに、行われました。

悪天候の日に、どれぐらいのお客様が聴きにきてくださるかと心配しましたが、600席の音楽ホールを半分弱埋める程の方々に暖かい拍手をいただきながら、楽団員は、ホールのすばらしい響きにも助けられ、音を奏するながら、精一杯演奏することができました。全員の力を合わせて準備したコンサートが、楽団員も満足のいくものになったこと、お客様から、選曲が良かった、感動して涙が出たといったお声掛けもいただいたことを大変嬉しく思っております。これも、今まで積み上げてこられた全シ連の方々のご努力、素晴らしい編曲楽譜のレパートリーのおかげです。

この経験を第一ステップとして、今後、さらに地域の皆様にあられる楽団に成長していけたらと思っております。今後とも、よろしくお願致します。

代表 金山英子



## 佐倉シニアアンサンブルかなで

### 「第1回定期演奏会を終えて」

3月20日(水・祝日)に、「佐倉シニアアンサンブルかなで」は、「第1回定期演奏会」を開催致しました。2023年3月に発足して丁度1年を迎えるにあたり、私達のこの1年間の成果を披露できるよう練習に励んできました。

会場は、設立当初からお世話になつていらっしゃる志津コミュニティセンターに併設されている大ホールをお借りしました。講堂の造りで舞台のスペースがあまり広くなく、32名の団員全員が乗る事ができず、舞台上の上と下に分かれての演奏となりました。

そのような状況にもかかわらず、開場前からたくさんのお客様にお越しいただき、開演前には追加の椅子を団員のすぐそばまで並べて、最終的に400名のお客様の前で演奏をさせていただきました。次回はもう少し広い会場の選定が必要と感じました。

プログラムの第1部は外国の曲、第2部では先生と団員への質問コーナーを挟みクラシックとジャズを、そして市長の挨拶の後、第3部は「日本の名曲から」と題して、最初に笹森敏明先生が編曲を手掛けられた「さくら」を演奏しました。プログラム最後の曲、横林先生編曲によるジャズパニーゾポプスメドレーでは、ヤングマンで手拍子も出た会場が一体となり盛り上がりました。練習どおりに演奏できた曲ばかりではありませんでしたが、佐倉シニアアンサンブルを地域の方々を知っていただき、また応援していただけたら大きなきっかけとなった演奏会だったと思っております。団員にとっても、満足感と次に繋がる反省点を持てた充実した1日になったのではないのでしょうか。

佐倉シニアアンサンブルかなで 長谷川夏子

